

ふれあい通信 平成25年6月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118
 ホームページアドレス <http://www.takenet.or.jp/~hospsaka>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四方山話



病院長 高山 哲夫
 (94 情報開示)

「インフルエンザに罹ったが、初期治療が遅れたため、回復までに1か月もかかってしまった。こんな内容のメールが届きました。どんな病気でも、早いうちに適切な治療を受けられれば大事にはなりません。庭の雑草も芽のうちには摘めば大事にならないのと同じです。インフルエンザは、発症してすぐに治療をすれば、普通は7日もあれば治ります。でも、こじれて肺炎などを併発すれば、元気になるまでに時間がかかってしまいます。時には死に至ることもあります。

中国で鳥インフルエンザが流行っています。今現在で、感染者105人、死者21人との新聞報道です。報道だけ見れば、鳥インフルエンザは、罹った人の5人に1人が死ぬ事になり、とても怖い話です。でも、私はここで「はてな、これが真実かな」と考えてしまいます。現在の中国の医療レベルがどれだけのものか、私は知りません。でも、我が国程、医療レベルは高くないはず。医療提供体制もあまり整備されていないとは言えず、治療を簡単に受けることができないだろうと思います。

熱が出た。すぐに病院へ行き、検査を受け、インフルエンザと診断されタミフルなどを貰う。日本では当たり前の体制が中国で整っているか疑問に思うのです。新聞報道以上に、実際には罹っている人がもつと多いのではないだろうか？それらの人々は適切な診断を受けていないのではないだろうか？そんな風に思ってしまう。罹っている人がもつと多ければ、死亡率はもつと下がることになります。また、亡くなられた方々も、初めから適切な医療を受けていたのだろうか？疑問に思ってしまうのです。冒頭の知人と同じです。適切な治療が受けられないためにこじれてしまった。その結果亡くなる方も出た。そんな気がします。

10年前に中国でSARSと云う病気が流行ったことを覚えている方も多いと思います。8098人が罹り774人の方が亡くなりました。10人に1人が亡くなった怖い病気です。日本と中国は一番近く人的交流も多い。SARSが何時日本で診断されても不思議でない状況でした。でも、日本ではSARSは発生しませんでした。適切な予防策が取られたからです。一説では、日本からの専門家の応援が中国に出向き、その後の新規の患者さんの発生を抑え込むことが出来たと聞いています。このように、きちんと情報が伝

えられ、それに対する適切な対策が講じられれば、病気の流行を防ぐことができます。火がぼうぼうに燃え盛ってしまったことは消すことも大変です。

さて、SARSはいつの間にか忘れられてしまいましたが、流行をもたらした一因に、中国の秘密主義があつたと言われています。誰しも自分に都合の悪いことは言いたがりません。自国に取って都合が悪かったからか、ことの重大性を理解していなかったのか、真実はわかりません。でも、当初情報を隠していたため流行が広がったと考えられています。このように、病気の流行を防ぐには、少しでも早く情報を開示し、予防策を取って貰うことです。

今年、坂下病院の療養型病棟で、インフルエンザの院内感染が発生しました。当院では、すぐに関係機関に情報を流し、入退院をストップしました。この結果、新たな感染を抑えることができ、短期間で終焉させることができました。その後の情報では、当院と同じように、あちこちで同じような院内感染があつたようです。しかし、残念ながらそうした情報があまり伝わって来ませんでした。もし、そうした情報が早く伝わってれば、職員の予防に対する意識ももつと高まり、当院での流行を防げたかも知れないと思います。



医師のひとりごと

眼科 木下慎介

こんにちは。眼科の木下です。以前、「医師のひとりごと」を投稿したのは随分と前になりますので、久々の投稿になります。前回に投稿した際は、眼科は2診制で、岡田先生（現 中津川市民病院）と一緒に働いていたと記憶しています。すると、前回の投稿から2年ほど経過していることになりました。まさに光陰矢のごとしでございませぬ。この2年間で当然のことながら、医療機器や手術手技も同様に大きく変化しております。私自身、特に趣味と言ったものがございませぬので、仕事、とりわけ当科の2年間の出来事を書かせていただきます。

2年前の白内障手術の切開幅は3.0mmの四面切開（4段階に分けて切開創を作る手技）でしたが、現在は2.4mmの一面切開に変わりました。白内障手術における切開創の作製方法や0.6mmの切開幅の差は非常に大きいです。2.4mm一面切開の場合、3.0mm四面切開と比べ、手術翌日の視力の回復が非常に良好です。さらに小さい1.8mm～2.2mmの極小切開の報告もあります。現状では2.4mm以下の切開幅から挿入できる眼内レンズ（白内障を取り除いた後に眼内に入れるレ

ンズのことです）は国内に存在しませぬので、最終的には切開幅を2.4mmまで拡大する必要があります。

そのため、現状では2.4mm以下の切開は採用しておりませぬ。しかしながら、2.4mm以下の切開幅から挿入できる眼内レンズが登場した時には、極小切開に変更する予定です。

また、眼内レンズの進化も大きく、乱視矯正用のレンズの普及によって術後の乱視の軽減が得られるようになりませぬ。そのため、当院では軽度の乱視であっても積極的に乱視矯正用の眼内レンズを使用しています（保険適応）。さらに自費治療になります。遠近両用の眼内レンズ（多焦点眼内レンズ）を用いた白内障手術も行っております。通常の眼内レンズは単焦点であるため、手術後は裸眼で焦点の合う距離が限られていませぬ。そのため、術後は見たい距離によつては眼鏡が必要になるわけですが、多焦点眼内レンズの場合は眼鏡が不要になることがほとんどです。

もちろん、単焦点眼内レンズで日常生活に不自由が出ることは、まずありませんので、ご安心ください。ただ、手術後に眼鏡が不要になる付加価値を求めるとなると、やはり多焦点眼内レンズが非常に良いと考えて

おります。

私自身、まぶたの手術は特段に自信がありますが、こちらの分野も自信過剰になることなく、東へ名人がいると聞けば西へと手術見学に行つておりますが、失礼ながら、どの名人・達人からも得るものが無い状態が続いております。しかし、先日、手術見学をさせて頂いた北海道の蘇春堂形成外科の二人の先生方の手術は非常に素晴らしいものでした。ここ7年間は、こんなに感動した手術を見学した記憶がありません。早速、手術手技を自分の手術に取り入れたことで、私のまぶたの手術は、更に完成度の高いものになりました。また、まぶたの手術道具もアメリカから取り寄せて購入致しましたので、まさに鬼に金棒です（事情があり個人購入でございませぬ）。

以上2年間の雑感ではございませぬが、次の「医師のひとりごと」の投稿依頼が来るまでに、おそらく眼科診療は大きく進歩していると思ひます。その進歩に遅れないように、眼科スタッフ共々、一眼入魂で取り組んでゆく所存でございませぬ。



先月の行事

かしも明治座

クラシックコンサート

5月15日（水）、坂下病院4階西病棟食堂にて「かしも明治座クラシックコンサート」が開催されました。少人数であるにもかかわらず、大迫力の演奏に驚き、感動した演奏会でした。



看護の日



5月18日（土）今年も「看護の日」にちなんでイベントを「きりら坂下駐車場」で開催しました。当日は、身長、体重、体脂肪測定、血圧測定、骨密度測定、AED取扱講習会など様々なイベントを行い、多くの方に

ご来場いただきました。当日「道の駅きりら坂下」に立ち寄った時に偶然イベントを見つけ、参加していただいた、県外からお越しのご家族もみえ、真剣な表情でAED講習会にも参加してくださいました。今回は、地域にお住まいの方に「ご来場いただいた上に、坂下高校の生徒さんの協力をいただいたこともあって、地域とのつながりや絆がより感じられるイベントになりました。今回のイベントでいただきましたご縁を大切に育んでいきたいと思えます。

ご来場いただいた地域の皆様、坂下高校の皆様、本当に有難うございました。



連載 ふれあい

リハビリ教室 ④



今回のテーマは「杖」です。

杖の役割と使用方法

歩行が困難になると、歩行補助具として「杖」を使用します。歩行困難の原因には、腰痛や膝関節痛などの痛み、筋力低下、バランス能力の低下などがあります。これらの原因を補うために「杖」を使用します。患側(痛い側の足)への負担を少なくするために、基本的には、患側と反対側に杖をつきます。



杖の合わせ方

杖の高さ(長さ)は、腕を垂直に下ろした時の手首の高さにグリップがくる長さが良いとされます。



階段昇降

段差や階段で杖を使用する時、杖と足を出す順番があります。

【上る時】

①杖

②健側

(痛くない足)

③患側

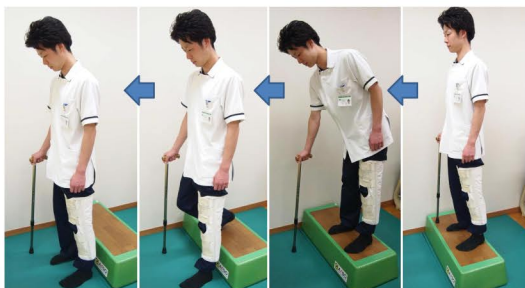
(痛い足)

【降りる時】

①杖

②患側

③健側



杖の高さや、階段昇降の順番には、人それぞれの方法があると思いますが、今回紹介した方法も、杖を使用するときの一つの参考にしていただけたらと思います。

連載 四季の画

坂下病院 花暦

今月の花：(アザミ)



アザミはキク科アザミ属及びそれに類する植物の総称である。トゲが多く触れれば痛い草であり、スコットランドでは、そのトゲによって外敵から国土を守ったとされ、国花となっている。青森県と中心とする東北地方では、春先にアザミの新芽を山菜として食べる。その根は「山ごぼう」「菊ごぼう」などと言われ、味噌漬けなどの加工品として販売されている。しかし、学術名「ヤマゴボウ」「ヨウシユヤマゴボウ」は、いずれもキク科ではなくヤマゴボウ科であり、薬用にはなるが、食用になるどころか有毒植物であるため、混合して誤食しないよう注意が必要である。



季節の画を提供して下さる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町田立在住。現在もリハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示しています。

職員募集！ 医師・看護師・准看護師

『一緒に地域の医療を守りませんか。』

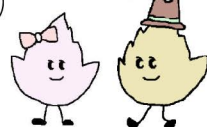
勤務内容、勤務時間などは相談に応じます。気軽にご相談ください。

お知り合いに医師・看護師・准看護師がみえましたらご紹介下さい。

電話 0573-75-3118 内線 210 担当：松本看護部長



お待ちしています



☆ お知らせ ☆

催し物	日時・場所	内容
糖尿病食試食会	6月11日(火) 6月25日(火) 午前11時～3階食堂	予約：坂下病院栄養科(内線164) お電話でおねがいします。 会費：300円(食材費)
糖尿病教室	9月28日(土) 10時～	栄養：食事バランスと間食 運動：ウォーキング、室内運動
ふれあい健康塾	未定です。	未定です。

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成25年6月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		緒方【呼吸器】	伊藤	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	告野	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00～ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	告野	酒井	信太
外科	第一	柴田	保坂【血管外科】	高橋【血管外科】	重田	水野
	第二	近藤	重田	高木	近藤	高木
整形	第一	小嶋【リウマチ】	小松	小澤	小松	小松
	第二	矢野	米田	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	木下
泌尿器科	渡邊		渡邊	山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	和田	西村	清水	片平	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00～		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	